



第8次旭川市総合計画 点検報告書 (概要版)

ASAHIKAWA CITY

1 第8次旭川市総合計画の構成



第8次旭川市総合計画

計画期間：平成28年度～令和9年度（12年間）／基本計画は原則4年ごとに見直し

基本構想

【目指す都市像】

世界にきらめく いきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～

基本目標 1～5

→ 3 (1)

基本政策 1～13

→ 3 (1)

都市構造の
方向性

基本計画

- ・ 34の施策
- ・ 3つの重点テーマ
(こども／しごと／地域)
- ・ 41の成果指標

→ 3 (2)

→ 3 (4)

都市づくりの
基本方策 1～4

→ 3 (3)

2 本市を取り巻く状況



(1) 全国的な社会経済情勢

- 【社会の変化】人口減少が続く中、物価高と人手不足が生活や経済を圧迫する一方、観光需要は増加
- 【デジタル化】国は自治体DXを推進、本市はR7.1に「旭川市dX加速化方針」を策定し窓口業務等のDXを推進
- 【ゼロカーボン】国は2050年カーボンニュートラルを宣言、本市もR3.10にゼロカーボンシティを表明

(2) 人口

- 【総人口】人口はR7.10現在313,015人（前年比▲4,152人）、老年人口割合は35.7%と全国平均を上回る
- 【自然増減】自然減は1,774人(H28)→3,830人(R7)に拡大、合計特殊出生率は1.32(H28)→1.05(R6)に下降
- 【社会増減】転出超過（社会減）が継続、R2はH9以来24年ぶりの社会増となったがR3からは再び社会減
- 【推計比較】計画最終年度(R9)の推計人口は約30.4万人、R7時点の実績は推計を1,272人上回る

(3) 地域経済

- 【全国的な状況】R4以降の物価上昇を契機にR5春闘から賃上げが広がり、5%超の賃上げがR6・R7と2年連続で実現
- 【産業別就業構造】就業者数はR2調査で146,321人(H27比6,064人減)。医療・福祉等が増加する一方、製造業等が減少
- 【商品販売額等】年間商品販売額は1兆632億円(H28)→1兆1,542億円(R3)、製造品出荷額等は2,153億円(H28)→2,245億円(R6)と増加
- 【雇用環境】有効求人倍率はR4以降、3年連続低下しR7は0.90倍、一方で建設採掘(3.70倍)、保安(2.52倍)等で人手不足
- 【観光】宿泊延数はH28～H30に約26%増加、コロナ禍で激減も5類移行後に回復し、外国人宿泊者の割合が増大
- 【農業】販売農家戸数は1,133戸(H27)→590戸(R7)と約48%減、農業生産額は140億円前後で推移もR7は米価高騰等により162億円

(4) 安全・安心な暮らしの確保

- 【豪雨災害】H30年7月豪雨、R6年9月の大雨など毎年のように災害が発生、道内の短時間強雨の頻度は約30年前の約1.4倍に増加
- 【地震】H28熊本地震、H30北海道胆振東部地震等が発生、本市の30年以内の震度6弱以上の発生確率は0.76%
- 【除雪対策】除排雪予算は労務単価等の上昇により増加傾向。国・道との連携、除雪センターの機能集約や除雪DXにより効率化
- 【地域コミュニティ】町内会加入率はH27年度に60%を下回り低下が継続。市民委員会の解散等、地域活動団体の機能低下が懸念

(5) 財政

- 【歳入歳出】歳入歳出ともR1まで1,500億円台、R2以降は1,800～2,000億円台、義務的経費が決算額の半分程度を占める
- 【市債・基金】市債残高はR6決算で1,643億円（H27決算比182億円減）。基金残高はR6年度末で89億円（H27年度末比18億円増）

3 (1) 基本目標と基本政策の進捗状況①



基本目標 1 すくすくと子どもが育ち、誰もが健やかに暮らせるまちを目指します

基本政策	主な取組・成果	主な課題	成果指標（基準値→現状値[目標値]）	
1 子育てに希望を持ち、子どもの成長を支える環境づくり	・中学生までの医療費無償化（R5年度～）、高校生等まで拡大し医療費無償化（R7年度） ・こども家庭センターの設置（R6年度）、妊婦等相談支援給付事業（R7年度） ・こども誰でも通園制度の試行的実施（R6～R7年度） ・保育センターの運営開始、特別支援保育の受入拡大、一時預かりの拡大（R7年度）	○困難や不安を抱える家庭への伴走型支援の更なる充実 ○保育の需給バランスの確保、特別支援保育への対応 ○放課後児童クラブの待機児童ゼロ継続、支援員の質の向上	①合計特殊出生率 1.28(H26)→1.05(R6) [全国値1.15]	低下
			②年少人口割合 11.5%(H27)→9.5%(R7) [全国値10.9%]	低下
			③子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合 55.5%(H27)→52.3%(R7) [70%]	低下
2 生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進	・スマートウエルネスあさひかわプランの策定（R5・R7年度）、健幸アプリ運用（R6年度） ・アピアランスケア助成事業（R6年度）、带状疱疹ワクチン定期接種（R7年度） ・在宅医療推進事業（R1年度）、医療提供施設等への食材費・燃料価格高騰対策支援（R5年度） ・旭川市感染症予防計画（R6年度）、新型インフルエンザ等対策行動計画（R7年度）の策定	○特定健診及びがん検診の受診率の向上につながる取組の強化 ○在宅医療の医師・看護師等の確保、初期救急医療体制の構築 ○感染症対策の体制づくり、予防啓発や予防接種の周知	④健康寿命 数値は報告書を参照 [平均寿命の増を上回る健康寿命の増]	達成
			⑤生活習慣病の年齢調整死亡率（人口10万対） 数値は報告書を参照 [悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管疾患別の目標値]	低下
			⑥特定健診受診率 21.8%(H26)→30.7%(R6) [50%]	向上
3 互いに支え合う福祉の推進	・ICT・AIを活用した民生委員児童委員支援システムの導入（R6年度～） ・福祉タクシー助成の増額・対象拡大、介護予防高齢者聞こえ支援モデル事業（R6年度～） ・医療的ケア児等相談窓口の設置（R6年度～） ・福祉除雪サービス（継続）、地域まるごと支援員の増員（R6年度～）	○複雑化・複合化した課題を抱える市民への相談体制の強化 ○高齢者福祉サービスの適切な供給に向けた対象要件の見直し ○地域福祉活動の担い手が安心して活動できる環境整備	⑦互いに助け合いながら暮らしていると感じている市民の割合 43.5%(H27)→37.3%(R7) [60%]	低下
			⑧障害者の雇用率 2.07%(H26)→2.43%(R7) [法定雇用率（R7時点2.5%）以上]	向上
			⑨前期高齢者のうち、要介護1以上の認定を受けている高齢者の割合 3.41%(H26)→3.41%(R6) [3.34%以下]	維持

3 (1) 基本目標と基本政策の進捗状況②



基本目標2 たくましく未来を拓く人材を育み、生涯を通じて学べるまちを目指します

基本政策	主な取組・成果	主な課題	成果指標（基準値→現状値[目標値]）	
4 次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進	- 旭川市立大学・同短期大学部の開学（R5年度）、地域創造学部を設置準備（R5～R7年度） - 全市立小中学校の給食費支援（R5年度～）、1人1台のタブレット端末の更新（R7年度） - 業務量管理・健康確保措置実施計画の策定（R7年度） - いじめ防止対策基本条例の制定（R5年度）、教育委員会と連携しいじめ防止対策「旭川モデル」を推進（R5年度～）	○教員確保が困難である現状を踏まえた少人数学級編制の在り方の検討 ○適正配置計画に基づく学校の統廃合、屋内体育館の暑さ対策 ○教職員の働き方改革の推進 ○いじめ防止対策「旭川モデル」の推進	⑩子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合（再掲） 55.5%(H27)→52.3%(R7) [70%]	低下
			⑪子どもたちへの教育環境が充実していると感じる市民の割合 31.6%(H27)→27.0%(R7) [42%]	低下
5 スポーツや文化に親しみ、学びを深める環境づくり	- 新図書館システムの導入、図書館公式LINE等の開設（R7年度） - 旭川ミュージックウィークの開催（R4年度～）、マイセンの期間展示の実施（R7年度） - プロスポーツチームとの連携によるスポーツ推進事業の実施（H29～）、けんスポ！の開催（R5年度～）、レスリングパリ金メダリスト講習会（R6年度～）、学校施設スポーツ開放事業の自主管理方式の導入（R7年度）	○現代的な課題や市民のニーズに対応した学習機会の充実 ○地域の文化・文化財の魅力発信、マイセン常設展示場の開設 ○スポーツ施設の老朽化対策、合宿の環境・サポート体制の充実	⑫学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数 838人(H27)→558人(R7) [1,000人]	低下
			⑬趣味・教養の講座や、今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合 26.7%(H27)→24.2%(R7) [37%]	低下
			⑭文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合 32.0%(H27)→28.7%(R7) [42%]	低下
			⑮スポーツ実施率 27.6%(H27)→30.1%(R7) [50%]	向上

3 (1) 基本目標と基本政策の進捗状況③



基本目標3 活力と賑わいにあふれ、経済が力強く発展するまちを目指します

基本政策	主な取組・成果	主な課題	成果指標（基準値→現状値[目標値]）	
6 魅力と活力のある産業の展開	・国内外市場との商談・販売機会の創出（R2年度～）、IT企業等の進出に係る補助（R5年度～） ・ユネスコデザイン都市旭川会議の開催（R6年度）、デザインシステム活用（R6年度～） ・旭川市工場立地法準則条例の制定（R7年度） ・スマート農業・省力化技術の導入支援（R4年度～） ・生徒、学生向けアントレプレナーシッププログラム（R6年度～）、外国人材活用相談窓口の開設（R7年度）	○地域企業への支援による地場産品の国内外販路開拓・拡大の促進 ○企業ニーズに応じた支援による企業誘致の更なる推進 ○新規学卒者や求職者が地元に着定するための環境づくり ○農業の担い手確保・育成、スマート農業の推進	⑯一人当たりの市民所得 2,362千円(H23)→2,797千円(R4) [道民所得2,891千円]	向上
			⑰製造品出荷額等 1,837億円(H25)→2,220億円(R4) [2,264億円]	向上
			⑱有効求人倍率 0.85倍(H26)→0.94倍(R6) [全道値0.95倍]	向上
			⑲農業生産額 146億円(H26)→142億円(R6) [149億円]	低下
7 温かなまちの賑わいと国内外との多様な交流の創出	・旭川空港の路線拡大（継続）、ユキノワアサヒカワの実施（継続）、買物公園エリアプラットフォームの設立（R5年度） ・カムイスキーリンクスを活用した冬季観光充実（継続）、体験型アクティビティの充実（R3年度～） ・旭川移住促進協議会の設立（R1年度）、圏域移住イベントの開催（R5年度～）	○旭川空港の機能充実と路線拡大、中心市街地活性化に係る取組の発展 ○外国人観光客の動きを捉えた海外プロモーションの実施、宿泊税の用途検討 ○移住サポート体制の充実、国際交流の担い手の確保	⑳旭川市は活気と賑わいのあるまちだと思う市民の割合 21.7%(H27)→24.2%(R7) [32%]	向上
			㉑中心部の歩行者数 130,407人(H27)→114,815人(R7) [145,000人]	低下
			㉒高速交通利用者数 687.9万人(H25)→633.7万人(R6) [675万人]	低下
			㉓観光客宿泊延数 74.4万泊(H26)→117.5万泊(R7) [122万泊]	向上

3 (1) 基本目標と基本政策の進捗状況④



基本目標4 自然と共生し、安全・安心な社会を支える強靱なまちを目指します

基本政策	主な取組・成果	主な課題	成果指標（基準値→現状値[目標値]）	
8 四季を通じて暮らしやすい快適な都市の構築	- 旭川市都市機能施設誘導促進補助金、花咲スポーツ公園の再整備（R6年度～） - 地域材活用住宅建設補助（R5年度～）、盛土規制法運用の基礎調査（R7年度） - 除雪DXの推進（R5年度～）、除雪センター機能集約（R6年度～）、コラボ排雪（R6年度～）、雪処理のルールやマナーの対策強化の取組（R6年度～）	○管理コスト等を検証した上で、の道路・橋りょう・公園等の計画的な整備改修 ○適正に管理されていない空き家対策、建築物の耐震化 ○除排雪の担い手の確保・育成、雪処理施設の確保	②④ 快適に生活できる環境にあると感じている市民の割合 38.6%(H27)→41.4%(R7) [49%]	向上
			②⑤ 心地良い景観だと感じている市民の割合 37.4%(H27)→42.4%(R7) [50%]	向上
			②⑥ 環境基準達成度 11/14項目(H26)→13/14項目(R7) [14/14項目]	向上
9 環境負荷の低減と自然との共生の確保	- 市民花壇づくり支援等の緑化事業の推進(継続)、環境基本計画（第3版）の策定（R5年度） - リサイクルセンターの整備（R5～R7年度）、次期一般廃棄物最終処分場の整備計画策定/基本設計/実施設計（R5～R7年度）、近文清掃工場基幹的設備改良工事（R6年度～） - ゼロカーボンZOOの取組（R5年度～）、再エネのゾーニング調査（R7年度）	○計画的な緑地化の推進、効果的な外来種対策の実施 ○生ごみ・製品プラの資源化、各ごみ処理施設整備に係る財政負担の軽減・平準化 ○再エネのゾーニングマップ等の策定と条例等の基盤構築	②⑦ ゴミ総排出量 118,548t(H26)→102,128t(R7) [100,000t]	向上
			②⑧ 温室効果ガス排出量 2,695千t-CO2(H23)→2,702千t-CO2(R4) [2,193千t-CO2]	低下
			②⑨ 緑などの自然環境が良いと感じている市民の割合 59.0%(H27)→61.9%(R7) [69%]	向上
10 安心につながる安全な社会の形成	- Net119緊急通報システムの導入（R2年度）、災害対応ドローン運用体制の整備（R5年度～） - 災害情報伝達体制の整備、「旭川市防災これ一冊まとまっぶ」の作成（R7年度） - 高齢者運転免許証自主返納サポート（継続） - 街頭防犯カメラの設置（R1年度～）、特殊詐欺被害防止の啓発拡充（R2年度）	○防災講習等のコンテンツ検討、災害時個別避難支援計画の作成 ○防火普及啓発の推進、救命率向上に向けた取組の充実 ○高齢者の交通事故や特殊詐欺被害等の防止の取組推進	③⑩ 災害や犯罪などに対して不安を感じている市民の割合 61.5%(H27)→66.3%(R7) [51%]	低下
			③⑪ 災害時の防災体制が良いと感じている市民の割合 13.9%(H27)→16.8%(R7) [20%]	向上
			③⑫ 市民の人的災害り災率 1.36%(H26)→0.84%(R6) [1%未満]	達成

3 (1) 基本目標と基本政策の進捗状況⑤



基本目標5 互いに支え合い、共に築くまちを目指します

基本政策	主な取組・成果	主な課題	成果指標（基準値→現状値[目標値]）	
11 市民、地域、行政が結び付き、心が通い合う環境づくり	・協働のまちづくり事業に「行政提案型」を拡充（R7年度） ・地域情報共有プラットフォームの運用（R5年度～）、地域自治推進ビジョンの改訂検討（R7年度） ・多様な働き方推進事業者の認定・表彰（R5年度～）、みんなのキャリアの保健室開設（R7年度）、ジェンダー平等プラン策定（R7年度） ・旭川未来創造ポストの実施（R4年度～）、「1分でわかる旭川」の毎週配信（R6年度～）、ASAHIKAWA FINDERの実施（R7年度）	○市民活動の活性化や協働の更なる推進 ○地域活動の活性化に向けた仕組みづくり ○男女共同参画・ワークライフバランスの啓発事業の検討 ○戦略的な広報の推進、市民ニーズの的確な把握と市政反映	③本市に愛着や親しみを感じている市民の割合 77.8%(H27)→77.8%(R7) [80%]	維持
			④まちづくりに関心がある市民の割合 73.0%(H27)→66.9%(R7) [80%]	低下
			③⑤地域で主体的に活動している市民の割合 13.5%(H27)→10.6%(R7) [25%]	低下
			③⑥ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合 17.3%(H27)→20.6%(R7) [28%]	向上
12 広域連携によるまちづくり	・姉妹都市鹿児島県南さつま市との交流事業の実施（継続） ・道外自治体との個別連携（中津市とのDX連携協定（R4年度）、泉大津市とのオーガニックビレッジ宣言（R6年度）） ・旭川大雪圏フェスティバル2023の開催（R5年度）	○旭川大雪圏域連携中枢都市圏形成による圏域内の活性化 ○関係部局と連携した幅広い分野における交流	③⑦旭川大雪圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づく取組数 152(H27)→322(R7) [325]	向上
			③⑧北北海道の自治体との連携による取組数 26(H27)→43(R7) [46]	向上
13 機能的で信頼される市役所づくり	・新庁舎供用開始・総合窓口の設置（R5年度）、住民票等のオンライン請求の開始（R6年度）、次世代総合窓口グランドデザインの策定（R6・R7年度） ・ふるさと納税・企業版ふるさと納税による自主財源の確保（継続）、庁内業務での生成AI活用（R6年度～）、公共施設オンライン予約システム導入拡大（R6・R7年度）、統合型GISの導入（R7年度）	○日本一の窓口実現に向けた未来像の具体化と手法の検討 ○技術職等の人材確保に向けた採用手法等の検討 ○財政健全化、DXの推進、公共施設保有量の最適化	③⑨市役所に対して良い印象を持っている市民の割合 39.2%(H27)→46.5%(R7) [50%]	向上
			④⑩実質公債費比率 7.0%(H26)→9.1%(R6) [7.8%]	低下
			④⑪将来負担比率 90.3%(H26)→84.2%(R6) [80.0%]	向上

3 (2) 都市像の実現に向けての重点テーマの進捗状況



重点テーマⅠ こども 生き生き 未来づくり

主な推進状況	・婚活イベント開催による出会いの機会の創出（継続）、こども家庭センターの設置（R6年度） ・公設放課後児童クラブの運營業務委託（継続）、こども誰でも通園制度の試行的実施（R6～R7年度） ・旭川市立大学・同短期大学部の開学（R5年度）、校内教育支援センターの設置（R7年度） ・全市立小中学校の給食費支援（R5年度～）、児童生徒1人1台のタブレット端末の更新（R7年度） ・いじめ防止対策基本条例の制定（R5年度）、教育委員会と連携したいじめ防止対策「旭川モデル」推進（R5年度～）
主な現状と課題	○少子化により保育需要が減少する中での需給バランスの確保、特別支援保育への対応 ○教員確保を踏まえた少人数学級編制の在り方の検討、統廃合による学校規模の適正化 ○子育て世代が安定して働ける仕事の不足等により、子育て世代等の転出超過が継続

重点テーマⅡ しごと 生き活き 賑わいづくり

主な推進状況	・プロスポーツチームとの連携事業（H29年度～）、学校施設スポーツ開放事業の自主管理方式の導入（R7年度） ・国内外市場との商談・販売機会の創出（R2年度～）、IT企業等の進出に係る補助（R5年度～） ・スマート農業・省力化技術の導入支援（R4年度～）、生徒、学生向けアントレプレナーシッププログラム開始（R6年度～） ・空港運營業の民間委託開始（R2年度）、買物公園エリアプラットフォームの設立（R5年度） ・カムイスキーリンクスを活用した冬季観光の充実（継続）、体験型アクティビティの充実（R3年度～） ・旭川移住促進協議会の設立（R1年度）、圏域移住イベントの開催（R5年度～）
主な現状と課題	○商業ビル等の閉店など低迷が続く買物公園の再生と、中心市街地の特性を生かした土地利用の促進 ○物価高騰の影響を受ける地域企業への支援、各分野で顕著な人材不足への対応、販売農家戸数の減少と高齢化への対応 ○旭川空港の更なる路線誘致の促進、合宿等の誘致活動及び受入体制の充実

重点テーマⅢ 地域 いきいき 温もりづくり

主な推進状況	・スマートウェルネスあさひかわプランの策定（R5・R7年度）、あさひかわ健幸アプリの運用開始（R6年度～） ・地域情報共有プラットフォームの運用（R5年度～）、地域自治推進ビジョンの改訂検討（R7年度）
主な現状と課題	○役員高齢化や加入率低迷が続く町内会の維持・活性化に向けた市民参加を促す取組や負担軽減等の検討 ○地域的つながりの希薄化による災害時における連携不足、防犯効果の弱体化への対応

3 (3) 都市づくりの基本方策の進捗状況



基本方策1 「コンパクト化」と「ネットワーク化」の推進

関連計画	都市計画マスタープラン（H28改定）、中心市街地活性化基本計画（H29、R4改定）、立地適正化計画（H29、R7改定） 地域公共交通計画（R6）
主な現状と課題	○いずれの計画も計画期間中であり、中心市街地の賑わい創出、地域核ごとの人口減少・高齢化を見据えた都市機能誘導や、ＪＲ北海道の路線維持、路線バスの維持確保などの課題に官民連携で対応しながら、実効性のある取組を進めることが必要

基本方策2 経済活動の活性化につながる基盤づくり

関連計画	地域公共交通計画（R6）、都市計画マスタープラン（H28改定）、立地適正化計画（H29、R7改定） 中心市街地活性化基本計画（H29、R4改定）、地域農業経営基盤強化促進計画（R6）
主な現状と課題	○都市機能の維持・集積の誘導、居住の誘導等の中長期的な視点での推進、農業者の減少や耕作放棄地への対応、次期産業用地の造成に向けた調査・検討、旭川空港の路線拡大や二次交通の充実などが必要

基本方策3 安全で豊かなライフスタイル実現への取組

関連計画	都市計画マスタープラン（H28改定）、地域防災計画（R7改定）、第2次緑の基本計画（H27）、雪対策基本計画（R3改定） 環境基本計画（第2次計画・改訂版）（R5）、森林整備計画（R6）、空家等対策計画（R3改定）、耐震改修促進計画（R3改定） 住生活基本計画（R4）、市営住宅長寿命化計画（R3改定）
主な現状と課題	○災害対応の体制や機能の充実、公園等の保全と森林資源の有効活用、安定した除排雪体制の確保、今後増加が見込まれる空き家等への対策と建築物の耐震化の促進等が必要

基本方策4 「造る」から「再構築・活用」への転換

関連計画	公共施設等総合管理計画（R3改訂）、同計画第1期アクションプログラム本編（H29）、同計画第1期アクションプログラム施設再編計画等（H30） 市立小・中学校適正配置計画（R6改訂）、学校施設長寿命化計画（R2）、都市計画マスタープラン（H28改定） 住生活基本計画（R4）、市営住宅長寿命化計画（R3改定）
主な現状と課題	○公共建築物の約69%が建築後30年を経過し、改修や更新に必要な財源の確保が厳しい中で総量の維持は困難であることから、再編・統合等について市民と課題認識を共有し、十分な理解を得ながら推進することが必要

※ 関連計画の（）内について、改定・改訂の記載のないものは策定年度を表示

3 （４） 成果指標の状況



	達成	向上	維持	低下	計
基本目標1	1	2	1	5	9
基本政策1				3	3
基本政策2	1	1		1	3
基本政策3		1	1	1	3
基本目標2	0	1	0	5	6
基本政策4				2	2
基本政策5		1		3	4
基本目標3	0	5	0	3	8
基本政策6		3		1	4
基本政策7		2		2	4
基本目標4	1	6	0	2	9
基本政策8		3			3
基本政策9		2		1	3
基本政策10	1	1		1	3
基本目標5	0	5	1	3	9
基本政策11		1	1	2	4
基本政策12		2			2
基本政策13		2		1	3
計	2	19	2	18	41
	4.9%	46.3%	4.9%	43.9%	100.0%

21指標
(51.2%)

【達成状況】

成果指標として掲げた指標について、直近の実績値の状況を次のとおり示している。

達成 … 目標値（令和9年度）以上に達したもの

向上 … 計画策定時の基準値から向上したが、目標値に達していないもの

維持 … 計画策定時の基準値から変わらないもの

低下 … 計画策定時の基準値から低下したもの

※ 複数の評価項目を持つ成果指標（基本政策2の成果指標2つ）については、最も低い評価項目で判定している。



ASAHIKAWA
CITY